

報告タイトル：

デンマークにおける移民難民政策の現状と EU 国境保護への新たな試み **Current Immigration and Refugee Policy in Denmark and New Strategies to Protect the EU Border**

発表予定者氏名：

新津久美子（在デンマーク日本大使館専門調査員）Kumiko NIITSU（Special Advisor, Embassy of Japan in Denmark）

キーワード：

デンマーク、EU、移民難民政策、北欧、本国送還、オフショア難民処理センター

はじめに

伝統的に移民難民に対して寛大とされる北欧諸国ではあるが近年は様相が異なる。2015 年のシリア紛争後、多数の移民難民が EU に流入しデンマークも例外ではなかった（同年の難民申請者 21225 名、認定 10856 名、通常は 1-2000 名程度）。2019 年 5 月に政権交代があり一部修正はありつつも 2015 年以降の厳格な移民難民政策は 2021 年現在も継続しており、2020 年 8 月には難民認定不認定者等の本国送還促進を主な目途とした「本国送還庁」（Return Agency）が移民統合省の傘下に新設され業務を開始した。

近年のトルコやベラルーシの対 EU 国境解放等を契機に EU による国境管理が強化される中、デンマークは EU 外における難民申請者のオフショア処理センター設立を目指し主にアフリカ各国との協議を開始した。

本小論考では、デンマークの移民難民をめぐる近年の動向を紹介することで、EU 国境保護への新たな試みの一端を考察する。

I. 政治的背景

2019 年 6 月、デンマークは政権交代で中道右派の自由党政権から社会民主党を与党とする中道左派政権となった。新型コロナウイルス感染症の発生に伴う社会の混乱を最小限に抑えられたことも相まって、厳格な移民難民政策を含む現政権への支持率は高水準で推移し、2021 年 8 月現在、支持政党世論調査では他政党への支持率が 10% 台の中、与党支持率は政権発足 2 年を経て依然として 30% と高支持を維持している。

II. 難民受入制度

デンマークは 1 年間に受入れる難民数を前年に国会で決定し、その数に応じて難民を受入れる。具体的には、国連クオータ難民及び一般の入国した難民申請者から難民を受入れるが翌年 1 年間に目標数値に到達しない場合、数字は持ち越され、3 年後まで受入数は有効となる。2020 年及び 2021 年は各 500 人の受入を掲げたが、コロナの影響もあり予想した国内難民受入数には達していない。

デンマークは EU 加盟国ではあるが、その加盟時に司法・内務協力分野を留保（オプトアウト）しているため、EU 内の難民の割当て分は対象外であり、EU の枠組みでのクオータ難民は受入れていない。

III. 移民難民をめぐる 2015 年以降の主な動き（2015 年 6 月自由党政権発足、同年シリア難民危機発生）

- 家族呼寄、帰化、永住権、失業手当等取得条件の厳格化、難民向け生活保護額が半額に（2015 年 9 月）
- 滞在費に充てるために難民から金品等の財産を没収する「宝石法」が施行（2016 年 1 月）
- UNHCR のクオータ難民の受入中止（2016 年）、その後政権交代後受入再開（2020 年 2 月）
- 難民の永住権を事実上ほぼ不可能とするいわゆる「パラダイム・シフト法」（法律第 140 号）成立（リンホルム島の移民難民送還センター新設を含む、2019 年 2 月）、同年 6 月の政権交代後、同センター設置中止（2019 年 9 月）
- 本国送還庁の新設（2020 年 8 月）難民申請不認定者や滞在不許可者の送還業務強化
- 難民申請の国外委託を可能とする法律が賛成多数で可決（2021 年 6 月）
- デンマーク出身 ISIL 外国人戦闘兵の妻子のシリアからの受入（2021 年 10 月）
- アフガニスタンのタリバーン政権樹立後、同国出身者の送還一時停止、デンマーク軍及び現地大使館等職員の避難受入開始（2021 年 8 月）

IV. EU 国境保護の新たな試み：EU 域外フェンス強化、オフショア難民処理センターの新設、FRONTEX 強化

2020年3月のトルコによる国境解放、2021年7月のベラルーシによる隣国リトアニア（EU加盟国）国境解放による移民難民のEU域内流入が発生し、デンマークは直ちにEUと共にトルコに抗議、リトアニアに有刺鉄線を供与し、FRONTEX（欧州国境沿岸警備機関）への拠出増強及び人的貢献強化を実施した。

更に2021年は新たにEU域外での難民申請者オフショア処理センター設立を目指し、英国、ノルウェー、及びオーストリア等とも協議を重ね、アフリカ諸国（ルワンダ、モロッコ、エジプト、チュニジア等）及びウクライナに、移民統合大臣及び開発協力大臣が相次いで訪問、協力依頼したとされる。デンマークがEU域外処理センター施設を設置すればEUでは初めてとなる。6月3日には国会において、難民申請の国外委託を可能とする法律が賛成多数で可決した。

他方、海外第3国でのレセプションセンターの設立は「本質的に植民地主義の新しい形」ともされ、難民条約違反であるとのUNHCRグランディ高等弁務官等の指摘や、現行ルールでは不可能な仕組みであるとのEUの指摘がある。

おわりに

デンマークは厳格な移民難民政策を維持しつつ、住民からの反対が強かった国内リンホルム島の外国人収容施設の建設は中止、2020年には2017年より停止していた国連のクオータ難民受入を再開した。他方、前政権が成立させた「パラダイム・シフト法」により難民のデンマーク滞在は一時的なものとし将来の帰還を前提とする方針には変更はなく、非西欧諸国からの移民難民（特に女性）の低就業率等が問題とされるなど、社会統合が引続き課題となっている。

厳格政策の継続に加えて、EU域外初のオフショア処理センター設立に向け動き出すなど、その動向は厳格化を模索する他国の関心を大きく集めており、EU加盟各国への波及も十分予測されるところである。

参考文献：

デンマーク現地新聞（ベアリンスケ紙、ポリティケン紙等）、公共放送（TV2、DR）、移民統合省・外務省・本国送還庁・首相府、EU、UNHCR、ユーロスタット、European Asylum Support Office ウェブサイト

The Danish Parliament, The Immigration and Integration Committee

<https://www.thedanishparliament.dk/en/committees/committees/the-immigration-and-integration-committee>

The Danish Refugee Appeals Board, General Information, Sep.2017

https://fln.dk/da/English/General_information_regarding_fln

The Danish Refugee Council, THE ASYLUM PROCEDURE IN DENMARK, Dec. 2015,

https://flygtning.dk/media/2921492/drc-booklet_web.pdf

Statistics Denmark, Immigrants and their descendants, 2021

<https://www.dst.dk/en/Statistik/emner/borgere/befolkning/indvandrere-og-efterkommere>

TV2 “Prime Minister Mette Frederiksen who is pursuing a goal of having “zero asylum seekers.”

<https://nyheder.tv2.dk/politik/2021-01-22-mette-frederiksen-malet-er-nul-asyllansogere-til-danmark>

Michala Clante Bendixen, OPINION “Denmark has gone far-right on refugees “politico.eu, March 10, 2021

<https://www.politico.eu/article/denmark-has-gone-far-right-on-refugees/>

デンマーク財務省発表：経済分析：財政における移民難民への支出（2018年）（2021年10月15日発表）

<https://fm.dk/udgivelser/2021/oktober/oekonomisk-analyse-indvanderes-nettobidrag-til-de-offentlige-finanser-i-2018>

吉武信彦「国民投票と欧州統一デンマーク・EU関係史」勁草書房、2005年

小池直人「デンマーク 共同社会の歴史と思想」大月書店、2017年

庄司克宏「新EU法 基礎編」2013年、及び同「新EU法 政策編」2014年、ともに岩波書店

庄司克宏「欧州の危機」東洋経済新報社、2016年

羽場久美子「ヨーロッパの分断と統合」中央公論新社、2016年

小久保康之「EU統合を読む」春風社、2016年

明石純一「人の国際移動は管理されるのか」ミネルヴァ書房、2020年 他